



社会福祉法人恩賜財団

済生会呉病院

平成 23 年度 事業成績

医療部

### 3. 各部署の活動状況

#### ①医療部

#### 内 科

当科では各医師の専門領域を生かした診療を行うと共に、高齢化に伴い複数の疾病を合併された患者様への対応を医師間で緊密な連携を取りつつ行う努力や、より侵襲の少ない医療を行う技術の研鑽、在宅支援、生活習慣病への取り組みを積極的に行っている。

内科医師数は、平成 24 年度より 1 名増員され 9 名である。平成 24 年度は平成 23 年度に引き続き、地域保健分野での臨床研修医の受け入れを行う。

9 名の内訳は、松浦院長、木戸の 2 名が循環器系を、國田、伊藤、青木、吉岡、田中、宍戸、藤田 の 7 名が消化器系を担当している。

当科では、診断分野では、経鼻内視鏡や拡大内視鏡も導入しており、FNA も行っている。治療分野ではペースメーカー埋込み術、ポリペクトミー、EMR、ESD、EPBD、ENBD、EPD、PTBD、PTGBD (A)、EIS、TAE、PEIT、RFA 等の専門性を生かした治療を行っている。

また本年度からは新任の宍戸医師の専門である小腸領域の診断・治療にも積極的に取り組んでいく予定である。

高齢者の在宅支援の一環として内視鏡的胃瘻造設術や、IVH ポート埋込みなども積極的に行っている。

また、松浦院長による高血圧専門外来、木戸医師による禁煙外来などを開設し、生活習慣病予防にも取り組んでいる。

平成 23 年度の主な検査処置件数は以下の通りである。

心臓超音波検査	465 件
頸動脈エコー検査	116 件
トレッドミル負荷テスト	50 件
IVH ポート埋め込み術	0 件
ペースメーカー埋め込み術	0 件
一時ペーシング	0 件
上部消化管内視鏡(処置を含む)	2,772 件
下部消化管内視鏡(処置を含む)	595 件
超音波内視鏡	16 件
ERCP(処置を含む)	72 件
経皮経肝的胆道処置	26 件
腹部超音波検査	1,686 件(ドック、健診を含めず)
エコー下肝生検	17 件
PEIT	0 件
RFA	8 件
EIS	26 件
腹部血管撮影(処置を含む)	11 件
静脈フィルター留置	0 件

# 外科

## 診療体制

広島大学原医研腫瘍外科の医師派遣終了に伴い、平成23年4月より 広島大学第二外科からの医師の派遣に変更、木村まり医長が赴任。9月まで一人体制で外来診療、入院、手術も制限せざるを得なかったが、同年10月より高倉有二副医長の増員となり、診療制限が大幅に緩和された。

## 診療内容

現在連日外科外来診療、人間ドックの乳癌検診(視触診、マンモグラフィ、エコー検査)、乳癌検診の二次精査を行っている。月・火・水の午後からは乳癌や大腸癌の外来化学療法も施行している。

外来診察は予約が原則であるが、紹介なしの新患や他医からの紹介患者も積極的に受け入れている。紹介患者は地域連携室を通じて予約日時を設定、待ち時間の短縮を図り、紹介先への報告も迅速確実に行っている。乳腺や甲状腺などのエコーガイド下の穿刺吸引細胞診も積極的に行っている。乳癌は、当院に病理医師が不在のため、術中迅速病理の必要な症例は病理検査可能な病院へ紹介している。

全身麻酔下の手術は月曜日、金曜日の午後に麻酔科医師を招聘して毎週行っている。外来での小手術もそれ以外の曜日に適宜実施している。

胆石症、兎径ヘルニアなどの良性疾患に加え、胃癌、大腸癌、肝臓癌、乳癌などの悪性腫瘍手術も積極的に行っている。肝臓癌や腹腔鏡手術等の高難度手術・複雑手術の際は広島大学第二外科に医師の応援を依頼している。現在麻酔管理は、広島大学麻酔蘇生科医師および開業麻酔科医師に依頼し、安全麻酔管理を行っているため、夜間の急患には対応困難であるが、麻酔科医師の来院可能日に緊急手術を行うこともあり、院内での急患にはほぼ対応している。

入院診療では、各待機手術の症例をはじめ、急性腹症などの急患や癌化学療法、癌の緩和医療、終末期医療患者に至るまで、多様な症例に対応している。他医からの紹介患者も可能な限り受け入れている。

スタッフとの連携では、不定期に病棟カンファレンスや抗癌剤の勉強会等を行い、院内委員会、研修会へも出来る限り参加している。

## 診療実績

平成23年度(平成23年4月から平成24年3月末)の手術症例は以下の通りである。

平成23年度(H23/4/1～H24/3/31)		外科手術症例
	手術術式	手術件数
1	腹腔鏡下胆嚢切除術	15
2	開腹胆嚢切除術(胆石症、胆嚢癌)	6
3	総胆管截石術	1
4	胃悪性腫瘍手術	5
5	肝切除術	5
6	腹腔鏡下結腸・直腸悪性腫瘍手術	3
7	開腹結腸・直腸悪性腫瘍手術	7
8	兎径・臍ヘルニア手術	13
9	乳腺悪性腫瘍手術	2

10	痔核手術	3
11	中心静脈アクセスポート手術	6
12	気管切開術	2
13	その他(緊急手術等)	10
計		78

## 整 形 外 科

平成 23 年度の整形外科常勤医師スタッフは、4 年連続大本 修、中村友彦の常勤医 2 名体制で行った。

外来診療は午前のみで、午前 9 時より 1 診体制で、午後は、月曜日に病棟看護師、理学療法士、MSW、医事課スタッフとともに総回診および合同カンファレンスを行っている。手術は広島大学麻酔科からの応援可能な木、金曜日の午後に、小手術は火、水曜日の午後を中心に行っている。また、今年度より須山クリニックと契約し、毎週月曜日の午後、麻酔科管理下での手術が可能となり、手術待機期間の短縮、日程調整が以前よりも可能となった。

平成 23 年度の全手術症例は、134 件であり、4 年連続で 200 件を下回る結果となった。

以下の表は、当科が 2 名体制となってからの年度別の手術症例数を示している。

また、当科は日本整形外科学会専門医制度の研修施設の認定を受けているが、その資格として入院患者 20 名以上、年間手術件数 100 例以上等の条件があり、近年、小規模施設の間で、認定取り消しや、辞退が増加している。平成 24 年度も引き続き、大本 修、中村友彦の常勤医 2 名体制で、一般整形外科治療を担当することになるが、入院患者 20 名以上、年間手術件数 100 例以上を最低目標として診療業務を行いたいと考えている。

年 度	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 8 年度	平成 9 年度	平成 10 年度	平成 11 年度
医 師 名	中光 清志 (9 月より)	→	竹本 正瑞	→	室積 正人	→
	加藤 誓	柏木 健児 (9 月より)	→		→	田中 隆治
手術件数	47 件	127 件	151 件	150 件	152 件	178 件
年 度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
医 師 名					→	砂川 融
	→	宮本 礼人	→	大前 博路	大本 修	→
手術件数	189 件	194 件	181 件	164 件	205 件	320 件
年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
医 師 名	大本 修	→				→
	渋谷 早俊	松尾洋一郎	中村 友彦	→		→
手術件数	247 件	272 件	187 件	156 件	126 件	134 件

# 眼 科

月曜日から金曜日までの午前に外来診療を、平日の午後は主に手術をしています。

平成 23 年度は 784 症例の手術を行いました。そのうち白内障手術が中心で 696 件、眼内レンズ逢着は 6 件、眼瞼下垂が 9 件、緑内障 10 件、翼状片 12 件、眼瞼内反症 10 件涙小管などの疾患が 10 件でした。その他、症例があれば同時手術も行っております。現在、眼内レンズ逢着は 3mm の小切開から出来るように習得中です。

レーザー治療は、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症などの網膜虚血性疾患や網膜裂孔に網膜光凝固を、白内障手術後に後嚢切開を行っています。

また加齢黄斑変性症に対するルセンティス硝子体注射の件数が 35 件と増加してきております。

徐々に増えていく(溜まってくる)可能性が高いのですが、硝子体手術装備はありませんので、この件に関して当院で出来る範囲を考えて適応をしっかりと考えていたいと思います。